

1 日 目

令和元年 9 月 1 0 日  
午前 1 0 時 0 0 分

議長

ただいまより第452回今別町議会定例会を開会いたします。  
ただいまの出席議員は6名であります。よって本定例会は成立  
いたします。  
会期について議題に供します。お諮りします。本定例会の会期  
につきましては、議会運営委員会において、本日から9月13日ま  
での4日間にいたしました。これにご異議ありませんか。

議員一同

異議なし。

議長

異議なしと認めます。よって会期は4日間と決定いたします。  
なお、会期中の会議の予定につきましては、お手元にご通知い  
たしました案のとおりでありますので、ご了承いただきます。  
会議録署名議員の指名をいたします。本定例会の会議録署名議  
員は、会議規則第120条の規程により  
1 番 太田 英一 議員  
7 番 福士 和比古 議員  
を指名いたします。

次に、諸報告をいたします。監査委員から、令和元年7月分現  
金出納検査の報告がありましたので、写しをお手元に配付してお  
りましたからご了承願います。

次に、両常任委員会より視察研修のご報告をいたします。  
総務文教常任委員長より視察研修について報告を求めます。

総務文教常任委員長

小倉 潤二 君

改めておはようございます。

それでは、総務文教常任委員会から報告いたします。

去る6月26日から28日まで、両常任委員会で、国会と滋賀県大  
津市、そして京都府南山城村に視察研修に行っていました。  
私のほうからは、国会へ県選出議員を表敬訪問してきたことと、  
南山城村で視察研修したことを報告いたします。

26日は、中嶋町長とともに県選出国會議員を表敬訪問してきま

した。この日は第198回通常国会の会期終了日でありましたが、3人の国会議員と町の取り組みについて意見交換をし、さらには、京都府選出で前国土交通官僚の足立敏之参議院議員とともに面会し、津軽半島循環道路の整備について助言をいただきました。また、当日は通常国会の最終日の本会議を傍聴することができ、大変貴重な体験ができました。

そして、27日は、京都府南山城村へ移住定住対策についての取り組みについて説明を受けてまいりました。南山城村は京都唯一の村で、面積は64.11キロ平方メートルで、東西南北に広く、面積の7割が山林という立地で、傾斜地を生かしたお茶の栽培が農業の産業として栄え、宇治茶の生産地として京都府茶品評会においては19年連続産地賞を受賞する宇治茶の村でありました。人口は7月末現在2,722人と当町今別町と同規模で、高齢化率40.6%、高齢者が多いため死亡者が多く、転入者より転出者が多いなど、当町と同様な人口推移でしたが、現在は移住候補地として全国から注目が集まっている村です。同村は、日本創成会議が公表した全国町村消滅可能性ランキングで17番目と位置づけられたことで、移住定住促進の重要施策として、平成28年5月から移住定住推進委員2名を配置し、空き家バンクの制度づくりから始まり、移住者の相談窓口、さまざまな情報を発信と、行政による子育て支援事業、教育、各種生活支援制度の創設、また村民の皆さんが自分たちの期待や思いを形に変えてほしい、自分たちがそれを担っていくという強い意志のもとで平成29年4月にオープンした道の駅みなみやましる村が、年間のレジ通過者が40万人と大成功になったことで一気に南山城村の知名度ができ、昨年の転入者実績では、30代が32人で全体の46%が若い世代の転入者となったとのことでした。現在、移住のため空き家バンクには29世帯、58人が利用希望を寄せておりますが、村所有の住宅もなく、空き家バンク登録件数が不足という状況で、申込者の需要に追いついていない状況だそうです。また、来年秋には、積水ハウスとマリオット・インターナショナルが協業で道の駅ホテルを開業することで雇用が生まれ、村の人口も増加し、経済的にも活性化するものと期待しているとのことでした。

現在、今別町の全国町村消滅可能性ランキングは全国の3番目となっております。このままでは今別町が消滅するという危機感を持って、どうすれば人口減少に歯どめがかかるか、どうすれば

人口増加につながるのかを、私たち議員はもちろんのこと、行政側においても早急に効果ある人口増加対策を模索し、町民一丸となって取り組む必要があるのではないかと思われた大変有意義な視察研修でした。

以上、今別町総務文教常任委員長の小倉潤二でした。

議長

続きまして、産業建設常任委員長から報告を求めます。

産業建設常任委員長

田中 哲也 君

改めまして、おはようございます。

産業建設常任委員会から報告いたします。

総務文教常任委員会からの報告と同様に、6月26日から28日までの日程で視察研修をしてまいりました。私からは、滋賀県大津市へ陸上養殖事業視察に行ってきたことについて報告いたします。

大津市では、まちづくり会社ウイルステージが独自技術を使って陸上での養殖事業に取り組んでいるものです。この養殖技術は、水を排出しないで特許技術により水が浄化され、その水を巡回することで、以前から製造していた魚類が元気になったことをきっかけとしたもので、池などの水質浄化は、これまで京都府平等院、鎌倉市円覚寺、皇居外苑、日比谷濠などで水質改善をしてきたそうです。この技術を利用して現在トラフグ1,500匹を育てており、通常は出荷するまで2年間の期間を有するところを半分の1年で出荷ができ、ことしの秋ごろには大津市内を中心に出荷されることでした。また、完全閉鎖方式で育成するため、魚病や寄生虫関連の心配が全くなく、薬剤等の使用が一切ないため、安全で健康な養殖業の認定規格ASCを取得し、コスト面においても他の養殖事業と比べても3分の1とされています。今後は順次増殖し20万匹ふやし、ヒラメ、ウナギ等も養殖する計画を立てているとのことでした。

今回の視察は、養殖事業の見識を広める意味でも大変有意義な視察であったことをご報告いたします。

以上です。

議長

以上、報告を終わります。

議案を一括上程いたします。町長より提出理由の説明を行います。

町長

す。

中嶋 久彰 君

改めまして、おはようございます。

9月ということで、実りの秋を迎え、農家の皆様の笑顔が期待される場所でもあります。

それでは、決算議会に当たり、説明に入らせていただきます。

本日ここに第452回今別町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には何かとご多用の中ご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

7月7日に行われました、いまべつ総合体育館落成1周年記念事業に議員各位を初め町民の皆様が多数ご来館くださいましたことに、改めて感謝申し上げます。また、ことしの荒馬まつりは天候にも恵まれ、例年以上に交流の輪が深まったとともに、祭りを目当てに訪れた方も多かったと思われます。花火大会においては、近年にないすばらしい花火が打ち上げられたと絶賛の声も多く聞こえております。

ことしの夏は全国的に猛暑が続き、体調を崩された方も多く見受けられましたが、まだまだ残暑厳しい日々が続いておりますので、体調管理には十分に気をつけてくださるようお願いいたします。また、異常気象により、四国、九州地方では集中豪雨に見舞われ、多くの方々が被災されましたことを心よりお見舞いを申し上げます。

それでは、今定例会に提案いたしました議案について、その概要をご説明申し上げ、ご審議の参考に供したいと存じます。

#### 提案理由説明

議長

本日はこれをもって散会いたします。

【10:25】